

知の市場

—講座の概要— (2016年度)

人間は多様な危機に曝されつつ多様な機会に巡り合う中で技術革新、制度改革、人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活をしてきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしつつ社会と世界において活動を展開していく幅広い基盤を固めるためには、広範な教養を高めていくことが必須である。

社会の幅広い領域において諸々の機関が人々の多様な要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合して新たな総合的かつ実践的な学習の機会を創成するべく「知の市場 (FMW: Free Market of · by · for Wisdom)」を開設した。

第0期(黎明期: ~2003年度)を経て第I期(形成期: 2004~2008年度)に「化学・生物総合管理の再教育講座」として開講して以来、第II期(展開期: 2009~2012年度)には自立的な活動として全国に展開を拡大した。そして、自律的に発展していくための基盤を確立する第III期(完成期: 2013~2014年度)まで実質10年間にわたり、総合的かつ実践的な学習の機会を提供してきた。

この成果を踏まえて、知の市場は自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場(Voluntary Open Network Multiversity)として存在感を示している。そしてプロ人材の育成と高度な教養教育の接合及び社会人教育と学校教育の連結という二つの結合を促進するべく挑戦している。

その中で「共催講座」は、「知の市場」の理念と基本方針に沿いつつ「知の市場」の運営体制を踏まえて、連携機関の協力のもと開講機関の主催により知の市場が共催して開講する。科目(120分授業15回2単位相当)を一つの単位とし開講し、大学・大学院に準拠した厳しい成績評価を行うことを原則とする。社会と世界の現況に対する理解を深めそして専門分野の幅広い展開の基盤を固めるために広範な領域の科目を開講するが、時代の進展などに配慮しつつ適宜見直し進化する。

「関連講座」は、共催講座での経験を活かした活動、開講機関や連携機関が実施する活動、自己研鑽と自己実現に資する活動などであって知の市場の理念を共有する活動で、個々の主催者が自らの主体性と責任のもとで知の市場の基本方針を念頭に置きつつも取り巻く諸般の状況を踏まえて、講義時間と講義回数、成績評価と受講修了証などについて柔軟かつ弾力的に運営する。大学・大学院での履修科目に相当する120分授業15回の講座を科目、講義回数の少ない講座をユニット、科目を越えた長期間の講座をコースとして分類する。当面、教養編、専門編、研修編、大学・大学院編の4つの領域を設定する。

毎年平均して第I期は2拠点で346名の講師の参画により44科目を開講し1203名の応募者が参加し、第II期は29拠点で625名の講師の参画により68科目を開講し3462名の応募者が参加し、第III期は43拠点で706名の講師の参画により95科目を開講し2930名の応募者が参加した。実質10年間で毎年平均して19拠点で513名の講師の参画により68科目を開講し2573名の応募者が参加し、合計5643名の講師と延べ25725名の応募者があった。2016年度は、自立的な運営の強化のため共催講座を大幅に関連講座に移行し、合計25拠点で452名の講師の参画により56科目を開講する。このうち、2016年度の新規開講科目は合計12科目である。

知の市場

「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として
実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して

人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場

友の会 連携学会 協力者・協力機関 有志学生実行委員会 知の市場事務局 協議会 評価委員会

共
催
講
座

東京・放送大学文京学習センター	東京知の市場、放送大学(協賛)	放送大学文京学習センター(東京メトロ茗荷谷駅) 前期2科目、後期2科目、計4科目開講
埼玉・狭山	狭山商工会議所、狭山市	狭山市産業労働センター(西武新宿線狭山市駅前) 前期1科目、後期2科目、計3科目開講
大阪・千里山	日本リスクマネジヤネットワーク	関西大学千里山キャンパス(阪急千里線関大前駅) 後期2科目、計2科目開講
鳥取・倉吉	動物臨床医学研究所	動物臨床医学研究所又は伯耆しあわせの郷(JR倉吉駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
東京・戸山	国立感染症研究所	国立感染症研究所(東京メトロ早稲田駅、若松河田駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
東京・同志社大学東京オフィス	東洋システム	同志社大学東京オフィス(JR東京駅、東京メトロ京橋駅) 前期1科目
東京・東京韓国学校	東京韓国学校	東京韓国学校(東京メトロ若松河田駅) 後期1科目
東京・お茶の水女子大学	お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期1科目、後期2科目、計3科目開講

関
連
講
座

I 教 養 編	愛知・名古屋市立大学(1)最新医学	名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジ	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅) 3期制、計3ユニット開講	
	東京・茗荷谷	化学工学会SCE・Net	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期1科目、計1科目開講	
	東京・幡ヶ谷	製品評価技術基盤機構	製品評価技術基盤機構(京王新線幡ヶ谷駅) 前期2科目、計2科目開講	
	大阪・住之江	製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会	製品評価技術基盤機構製品安全センター 前期1科目、計1科目開講	
	東京・西早稲田(2)製評機構	製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範科学総合研究所	早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講	
	東京・関西大学東京センター	関西大学社会安全学部	関西大学東京センター(JR東京駅、東京メトロ大手町駅) 前期1科目、計1科目開講	
	東京・浅草	日本中央競馬会	浅草パークホール(つくばエクスプレス浅草駅) 後期1ユニット、計1ユニット開講	
	東京・大東文化大学板橋キャンパス	生協総合研究所、大東文化大学	大東文化大学板橋キャンパス(東武東上線東武線馬場駅、都営三田線西台駅) 前期1科目、計1科目開講	
	茨城・つくば	農業・食品産業技術総合研究機構	つくばサイエンス・インフォメーションセンター(つくばエクスプレスつくば駅) 後期1ユニット、計1ユニット開講	
	東京・神田神保町	六大学狂言研究会連絡協議会	共立女子大学共立講堂(東京メトロ神保町駅、竹橋駅、九段下駅) 前期1ユニット、計1ユニット開講	
	東京・放送大学文京学習センター	東京知の市場、放送大学(協賛)	放送大学文京学習センター(東京メトロ茗荷谷駅) 前期2科目、後期2科目、計4科目開講	
	東京・お茶の水女子大学	お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期1科目、計1科目開講	
	II 専 門 編	愛知・名古屋市立大学(2)学びなおし	名古屋市立大学学びなおし支援センター	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅) 2期制:各期3科目、計6科目開講
		東京・明治大学	明治大学リパティアカデミー	明治大学駿河台校舎リパティアタワー(JR御茶ノ水駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
III 研 修 編	埼玉・狭山元気プラザ	アダムジャパン、狭山商工会議所、狭山市	狭山元気プラザ、アダムジャパン(西武新宿線狭山市駅からバス) 後期1科目、計1科目開講	
	福島・いわき	東洋システム	東洋システム(JR湯本駅) 通年2科目、計2科目開講	
IV 大 学 ・ 大 学 院 編	東京・放送大学文京学習センター	放送大学	4科目開講	
	東京・早稲田大学理工学部	早稲田大学先進理工学部	3ユニット開講	
	東京・早稲田大学共同先進健康科学専攻	早稲田大学先進理工学研究科共同先進健康科学専攻	2科目開講	
	東京・大東文化大学	大東文化大学	1科目開講	

共 催 講 座

第Ⅰ期（形成期：2004～2008年度）は毎年平均して2拠点で346名の講師の参画のもと44科目を開講して1203名の応募者が参加した。第Ⅱ期（展開期：2009～2012年度）は毎年平均して15拠点で392名の講師の参画のもと44科目を開講して1415名の応募者が参加した。第Ⅲ期（完成期：2013～2014年度）は毎年平均して20拠点で371名の講師の参画のもと40科目を開講して964名の応募者が参加した。

2016年度は、自立性の強化に伴い可能な限り共催講座を関連講座に移行させ、8拠点で131名の講師陣の参画により18科目を開講する。このうち4科目が新規科目、7科目が継続新規科目である。

2015年度に引き続き、東京知の市場と放送大学が協賛で4科目、狭山商工会議所と狭山市が3科目、日本リスクマネージャネットワークが2科目、動物臨床医学研究所が2科目、国立感染症研究所が2科目、東洋システムが1科目を開講する。新規開講機関として東京韓国学校が1科目を開講する。また、お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンターが開講機関として再開し、3科目を開講する。

1. 東京・放送大学文京学習センター 知の市場

(1) 開講機関

東京知の市場

放送大学（協賛）

詳細は <http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

放送大学東京文京学習センター（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

学習機関として広く社会人に大学教育の機会を提供する放送大学の協賛を得て東京知の市場が直轄で、化学物質リスク評価ならびに人材育成に関する科目を開講する。2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目、後期に2科目の合計4科目を開講する。

1) 継続及び継続新規科目として3科目

①花井リスク研究所

化学物質のリスクの評価と管理の概念に関する科目（前期）

②花井リスク研究所

リスク管理を実践するための人材育成に関する演習科目（後期）

③放送大学

楽しく豊かな人生を創造するプロフェッショナルの心得に関する科目（前期）

④化学物質リスク評価研究所

化学物質の病理学的評価に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2	20	14
2014	4	61	46
2015	6	43	26

2016	4		
合計	16	124	86

(2016年6月2日現在)

このほか、東京知の市場と放送大学は協賛で4科目を関連講座として開講する。

2. 埼玉・狭山 知の市場

(1) 開講機関

狭山商工会議所

狭山市

詳細は <http://www.sayama-cci.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

狭山市産業労働センター（西武新宿線狭山市駅前）

(3) 概要

埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市と狭山商工会議所は、その特徴を活かして地域とともに全国に狭山市の特徴を発信するために企業、教育等に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に2科目の合計3科目を開講する。

1) 継続科目として3科目

①狭山商工会議所・狭山市

狭山工業団地とその周辺企業のものづくりに関する科目（前期）

②狭山商工会議所・狭山市・狭山市茶業協会

グローバルブランドを目指す狭山茶の全てを学ぶ科目（後期）

③狭山商工会議所・狭山市

狭山市の中学生を対象とした経済キャリア教育に関する科目（後期）

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	38	27
2012	5	88	50
2013	2(3)	43	37
2014	2(3)	53	20
2015	3	53	20
2016	3		
合計	17	275	154

(注) () 内は当初予定の科目数。(2016年6月2日現在)

このほか、狭山商工会議所と狭山市はアダムジャパンと共催で1科目を狭山元気プラザ及びアダムジャパンで関連講座として開講する。

3. 大阪・千里山 知の市場

(1) 開講機関

日本リスクマネージャネットワーク

詳細は <http://www.jrmn.net/> を参照する。

(2) 開催場所

関西大学千里山キャンパス（阪急千里線関大前駅）

(3) 概要

リスクマネジメントの普及や支援に取り組むとともにリスクマネージャとしての資質を

磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的に活動する日本リスクマネージャネットワークは、関西大学の協力を得て千里山キャンパスを会場にし、身近な生活・環境害虫の防除や環境問題に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様、後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

- ①日本環境動物昆虫学会
身近な生活・環境害虫の防除に関する科目（後期）
- ②日本リスクマネージャネットワーク
市民の環境問題入門に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	2	43	30
2010	3	39	31
2011	3	27	16
2012	2	34	10
2013	2	41	22
2014	2	33	9
2015	2	31	16
2016	2		
合計	18	248	134

(2016年6月2日現在)

(注1)2009年度の開講実績は、2010年度から日本リスクマネージャネットワークが継承した科目を東京の早稲田大学規範科学総合研究所と東京工業大学社会人教育院が開講機関として開講したものである。

(注2)2010、2011年度は早稲田大学規範科学総合研究所と共催で大阪府環境農林水産総合研究所環境情報プラザ研修室にて開講した。

4. 鳥取・倉吉 知の市場

(1) 開講機関

動物臨床医学研究所

鳥取県動物臨床医学研究所が2011年4月1日から動物臨床医学研究所に改称された。

詳細は<http://www.dourinken.com/> を参照する。

(2) 開催場所

動物臨床医学研究所 (JR 倉吉駅)

(3) 概要

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医医療の従事者の教育・養成などの人材育成などに長期間にわたって取り組んできた動物臨床医学研究所は、動物医療に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続新規科目として2科目

- ①動物臨床医学研究所
臨床現場に有用な症例検討のあり方に関する2科目（前期）（後期）

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがあるが、急速な発展

の中にひずみが発生しているのも事実である。医療には生き物的要素があり急速な変化に対応不能な面もあるため臨床獣医学のありようを再考しつつ、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証して、そのありようを検討するために講義内容を毎年全面的に更新している。

受講対象者は獣医師、獣医系大学学生、動物看護師に限る。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり1,000円、学生は500円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2010	2	146	83
2011	2	135	44
2012	2	135	37
2013	2	156	44
2014	2	142	30
2015	2	135	35
2016	2		
合計	14	849	273

(2016年6月2日現在)

5. 東京・戸山 知の市場

(1) 開講機関

国立感染症研究所

詳細は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/> を参照する。

(2) 開催場所

国立感染症研究所（東京メトロ早稲田駅、若松河田駅）

(3) 概要

我が国唯一の感染症に関する総合的な研究を行う国立感染症研究所は、感染症とその防御に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続新規科目として2科目

①国立感染症研究所

現在問題となっている感染症との闘いに関する科目（前期）

ワクチンを中心とした感染症対策に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2	81	21
2013	2	70	32
2014	2	47	18
2015	2	54	28
2016	2		
合計	10	252	99

(2016年6月2日現在)

6. 東京・同志社大学東京オフィス 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

同志社大学東京オフィス（東京メトロ京橋駅、JR 東京駅）

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供するとともに試験評価を広く実施することにより高性能二次電池の開発や日本の国際競争力の維持向上に資する東洋システムは、リチウムイオン二次電池に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①社会技術革新学会リチウム電池教育研究会

リチウムイオン二次電池開発の歴史に見る技術革新と経営革新に関する科目（前期）修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	107	23
2015	1	80	17
2016	1		
合計	3	187	40

(2016年6月2日現在)

(注1)2014年度の開講実績は、東洋システムが東京・八重洲にて、2015年度の開講実績は、東洋システムが愛知・名古屋にて開講したものである。

7. 東京・東京韓国学校 知の市場

(1) 開講機関

東京韓国学校

2016年度から新規開講機関として東京韓国学校が知の市場に参画する。

詳細は<http://www.tokos.ed.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

東京韓国学校（都営地下鉄大江戸線 若松河田駅）

(3) 概要

日本国内における韓国の教育を担う中心的役割を果たす東京韓国学校は、韓国の歴史と文化に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、後期に1科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①東京韓国学校

韓国の歴史と文化の理解に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2016	1		
合計	1		

(2016年6月2日現在)

8. 東京・お茶の水女子大学 知の市場

(1) 開講機関

お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター

詳細は <http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

教養教育を重んじるお茶の水女子大学において生活世界に関する研究教育の役割を担うライフワールド・ウォッチセンターは、消費、法律、農業生物に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に2科目の合計3科目を開講する。

1) 継続新規科目として1科目

①お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター

実践的考察を通じたリーガルマインドの涵養に関する科目（後期）

2) 新規科目として2科目

②サステナビリティ消費者会議

今後の持続可能な社会で消費者はどのようにあるべきかを考える科目（前期）

③農業・食品産業技術総合研究所

農業生物資源と育種や農作物の品種改良に関する科目（後期）

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	10	213	152
2005	36	844	510
2006	31	659	360
2007	24	647	305
2008	10	551	290
2009	4	164	91
2010	4	136	81
2011	7(5)	207	89
2012	7(6)	161	53
2013	8	174	80
2014	10		
2015	—	—	—
2016	3		
合計	154	3,756	2,011

(注) () 内は当初予定の科目数。(2016年6月2日現在)

このほか、お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンターは1科目を関連講座として開講する。

関 連 講 座

第Ⅱ期（展開期：2009～2012年度）から関連講座を新たに展開し始めたが、第Ⅱ期は毎年平均して14拠点で251名の講師の参画のもと41科目を開講して2047名の応募者が参加した。第Ⅲ期（完成期：2013～2014年度）は毎年平均して23拠点で307名の講師の参画のもと55科目を開講して1,966名の応募者が参加した。

2016年度は、19拠点で320名の講師の参画により38科目を開講する。このうち8科目が新規科目、3科目が継続新規科目である。

2016年度は2015年度から継続して、教養編として東京知の市場と放送大学が協賛で4科目、名古屋市立大学大学院の主催で3ユニット、化学工学会 SCE・Net が1科目、製品評価技術基盤機構が2科目、筑波大学が2科目、製品評価技術基盤機構と関西大学社会安全学部と関西消費者連合会が1科目、製品評価技術基盤機構と早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、関西大学社会安全学部が1科目、日本中央競馬会が1ユニット、生協総合研究所と大東文化大学が1科目、農業・食品産業技術総合研究機構（2015年度までは農業生物資源研究所）が1ユニット、六大学狂言研究会連絡協議会が1ユニット、専門編として名古屋市立大学学びなおし支援センターが6科目、明治大学リバティアカデミーが2科目、研修編としてアダムジャパンと狭山商工会議所と狭山市が1科目、東洋システムが2科目、大学・大学院編として早稲田大学が3ユニット、早稲田大学大学院先進理工学研究科共同先進健康科学専攻が1科目、筑波大学が2科目、大東文化大学が1科目を開講する。また、お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンターが開講機関として再開し、教養編として1科目を開講する。さらに、新規科目を大学・大学院編として放送大学が4科目開講する。

I. 教養編

1. 東京・放送大学東京文京学習センター 知の市場

(1) 開講機関

東京知の市場

放送大学（協賛）

詳細は <http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

放送大学東京文京学習センター（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

学習機関として広く社会人に大学教育の機会を提供する放送大学の協賛を得て東京知の市場が、農薬や化学物質から法学まで幅広い分野の科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目、後期に2科目の合計4科目を開講する。

1) 新規科目として3科目

①日本植物防疫協会

農薬のリスク評価と管理に関するユニット（前期）

②ケミカルリスク研究所

化学物質のもたらす健康リスクや環境リスクに係る内外の動向に関するユニット（前期）

③増田優

健康・環境リスクを巡る国際的な論議を跡づけながら化学物質管理を付加価値の創造に繋げる道を探る科目（後期）

2) 継続新規科目として1ユニット

①林浩次

SDS 作成と GHS 分類の実務を学ぶユニット（後期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2015	1	10	10
2016	4		
合計	5	10	10

(2016年6月2日現在)

2. 愛知・名古屋市立大学（1）最新医学 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジ

名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジが2014年度から名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジに改称された。

詳細は<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html>を参照する。

(2) 開催場所

名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

市民の日々の生活を実りあるものにし将来の生活設計に資するために、名古屋市立大学医学部の基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民にわかりやすく解説し自己研鑽と再学習の場を提供することを目的とする名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジは、医療・健康に関する基礎的な科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様に、3期に分けて3ユニットを開講する。

1) 継続科目として3ユニット

①名古屋市立大学大学院医学研究科

最新医学に関する3ユニット（第1、2、3期講座）

講師陣は名古屋市立大学大学院医学研究科の教員を中心に、各ユニットのコーディネーターの下で学内他研究科の教員そして外部の研究者や実務家も参画している。受講者は大学生・大学院生も含めて医療・福祉関係や教育関係など幅広い社会人を応募対象とする。90分授業8回からなるユニットを毎年開講する。金曜日（18時30分～20時）に開催する。

6回以上の出席者には修了証を発行する。受講料は1ユニットあたり8,000円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2005	5	403	284
2006	6	497	390
2007	6	412	342
2008	6	371	256
2009	3	222	175
2010	3	227	173

2011	3	180	137
2012	3	218	173
2013	3	325	277
2014	3	327	289
2015	3	347	301
2016	3		
合計	47	3,529	2,797

(2016年6月2日現在)

3. 東京・茗荷谷 知の市場

(1) 開講機関

化学工学会 SCE・Net

詳細は <http://www.sce-net.jp/shakaijinkyouiku.html> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術に関わる教養講座を共催講座として開講してきたが、社会のより幅広い人々に技術や事柄についての基礎知識を提供する目的で、分割受講を可能とするなどの改革を行い、原子力と放射線に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①化学工学会 SCE・Net

原子力と放射線の基礎から応用までを学ぶ科目 (前期)

講師は当該分野で経験を積んだ現役あるいはシニアの化学技術者が当たる。

全講義の70%以上出席した受講者には、化学工学会 SCE・Net が受講修了証を発行するが、分割受講も可能である。

受講料は1科目あたり5,000円で、分割受講の場合は3,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	7	111	65
2006	7	90	51
2007	7	122	54
2008	3	106	45
2009	2	58	36
2010	2	53	24
2011	4	117	42
2012	6	152	85
2013	2	51	29
2014	4	50	50
2015	2	31	24
2016	1		
合計	47	941	505

(注) 2013年度以前は共催講座として開講してきた値も含む。

(2016年6月2日現在)

4. 東京・幡ヶ谷 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構（京王新線 幡ヶ谷駅）

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、微生物資源とバイオ安全に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①製品評価技術基盤機構

化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識やリスクコミュニケーションの重要性などに関する科目（前期）

②製品評価技術基盤機構

微生物資源の活用とバイオ安全の基礎知識に関する科目（前期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1	46	28
2012	1	48	26
2013	2	59	32
2014	2	62	33
2015	2	56	47
2016	2		
合計	10	271	166

(2016年6月2日現在)

(注1)2011～2014年度の開講実績は、主婦連合会と共催で東京・四ツ谷の主婦会館で開講した科目を含む。

このほか、製品評価技術基盤機構は1科目を関西大学社会安全学部、関西消費者連合会と大阪・関西大学高槻で、1科目を早稲田大学規範科学総合研究所と東京・西早稲田で開講する。

5. 東京・筑波大学東京キャンパス 知の市場

(1) 開講機関

筑波大学

詳細は https://www.sciencecommunication.jp/event/course#course_listを参照する

(2) 開催場所

筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

専門分野の深い知識や経験と幅広く深い学識のもと広い視野で物事を考える人間力の養成のためのカリキュラムを提供する筑波大学・渡辺研究室は、サイエンスコミュニケーションならびにリスクコミュニケーションに関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①筑波大学

日本サイエンスコミュニケーション協会
サイエンスコミュニケーションの活動事例およびその理論と実践的技術に関する
科目 (前期)

②筑波大学

日本サイエンスコミュニケーション協会
リスクコミュニケーションの活動事例およびその理論と実践的技術に関する科目
(後期)

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	2	18	17
2015	2	9	9
2016	2		
合計	6	27	26

(2016年6月2日現在)

6. 大阪・住之江 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構
関西大学社会安全学部
関西消費者連合会

詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構製品安全センター

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学社会安全学部や関西を拠点とする消費者団体である関西消費者連合会との共催で事故原因の究明などの製品安全分野に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様に、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

2011年度に製品評価技術基盤機構と関西消費者連合会の共催で開講した科目を継承して、製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目 (前期)

この科目は、製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講するほか、製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範化学総合研究所の共催で後期に東京 (早稲田大学西早稲田キャンパス) にて開講する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58

2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	35	28
2011	1	15	8
2012	1	50	29
2013	1	33	18
2014	1	39	20
2015	1	26	21
2016	1		
合計	20	623	379

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2016年6月2日現在)

7. 東京・西早稲田 (2) 製評機構 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス (東京メトロ西早稲田駅前)

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で製品安全分野に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目 (後期)

この科目は、製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範化学総合研究所の共催で後期に東京 (早稲田大学西早稲田キャンパス) にて開講するほか、製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	82	57
2011	1	81	46
2012	1	54	24
2013	1	68	35
2014	1	49	34
2015	1	73	46
2016	1		
合計	20	832	497

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2016年6月2日現在)

8. 東京・関西大学東京センター 知の市場

(1) 開講機関

関西大学社会安全学部

詳細は http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/ を参照する。

(2) 開催場所

関西大学東京センター（JR 東京駅、東京メトロ大手町駅）

(3) 概要

安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学社会安全学部は、社会安全学に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

① 関西大学社会安全学部

安全・安心社会と社会安全学に関する科目（前期）

受講料は1科目あたり社会人が10,000円で学生院生が3,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	95	95
2015	1	92	92
2016	1		
合計	3	187	187

(2016年6月2日現在)

9. 東京・浅草 知の市場

(1) 開講機関

日本中央競馬会

詳細は <http://www.jra.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

浅草パークホール（つくばエクスプレス、東京メトロ浅草駅）他

(3) 概要

競馬の健全な発展を図って馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与し、国民的レジャーを提供する日本中央競馬会は、競争馬に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1ユニット

① 日本中央競馬会

馬の生物としての特性を明らかにしつつ競馬とサラブレッドを論じるユニット（後期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	55	39
2015	1	50	45
2016	1		
合計	3	105	84

(2016年6月2日現在)

10. 東京・大東文化大学板橋キャンパス 知の市場

(1) 開講機関

大東文化大学

生協総合研究所

詳細は <http://www.daito.ac.jp/>
<http://ccij.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

大東文化大学板橋キャンパス(東武東上線東武練馬駅よりバス、都営三田線西台駅)

(3) 概要

文化が交差する知の拠点として深い教養をもった真の国際人の育成に努める大東文化大学は、消費生活と生活文化の向上などに関する総合的な調査・研究、教育、研修等の諸事業を行う生協総合研究所と共催で、生活協同組合の事業と社会活動に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①大東文化大学・生協総合研究所

新しい社会の実現に向けた生協の事業・社会活動に関する科目(後期)

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	26	25
2015	1	141	121
2016	1		
合計	3	167	146

(2016年6月2日現在)

(注1)2014年度の開講実績は、生協総合研究所が東京・四ツ谷の生協総合研究所にて開講したものである。

11. 茨城・つくば 知の市場

(1) 開講機関

農業・食品産業技術総合研究機構

組織変更により、農業生物資源研究所は2016年度より農業・食品産業技術総合研究機構として開講する。

詳細は <http://www.naro.affrc.go.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

つくばサイエンス・インフォメーションセンター(つくばエクスプレスつくば駅)

(3) 概要

食料・農業・農村が直面するさまざまな問題の解決と国民が期待する社会の実現に貢献することを目的とする農業・食品産業技術総合研究機構は、農業生物資源の利用に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、後期に1ユニットを開講する。

1) 継続科目として1ユニット

①農業・食品産業技術総合研究機構

バイオテクノロジーで拓く食料、医療など農業生物資源の利用と未来に関するユニット(後期)

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2006	1	11	7
2007	1	21	16
2008	2	56	32
2009	1	52	28
2010	1	63	29
2011	1	18	5
2012	1	40	10
2013	1	31	13
2014	1	22	8
2015	1 ユニット	25	25
2016	1 ユニット		
合計	12	339	173

(注) 2014年度以前は共催講座として農業生物資源研究所が開講してきた値を含む。

(2016年6月2日現在)

1 2. 東京・神田神保町 知の市場

(1) 開講機関

六大学狂言研究会連絡協議会

詳細は <https://sites.google.com/site/kyogen/> を参照する。

(2) 開催場所

共立女子大学 共立講堂（東京メトロ神保町駅、竹橋駅、九段下駅）

(3) 概要

お茶の水女子大学、共立女子大学、成城大学、東京大学、東京女子大学、早稲田大学の六つの大学の狂言研究会から構成される六大学狂言研究会連絡協議会は、狂言の実演に関する科目を開講する。

2015年度は、次の連携機関と協力して、前期に1ユニットを開講する。

1) 継続科目として1ユニット

①六大学狂言研究会連絡協議会

狂言の実演を通して古典芸能を学ぶ科目（前期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2015	1	2	2
2016	1		
合計	2	2	2

(2016年6月2日現在)

1 3. 東京・お茶の水女子大学 知の市場

(1) 開講機関

お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター

詳細は <http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwcc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

教養教育を重んじるお茶の水女子大学において生活世界に関する研究教育の役割を担

うライフワールド・ウォッチセンターは高分子材料に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

- ②お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター
プラスチック・ゴムの基礎から応用までを理解する科目（前期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2016	1		
合計	1		

(2016年6月2日現在)

II. 専門編

1 4. 愛知・名古屋市立大学（2）学びなおし 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学学びなおし支援センター

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋：名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学学びなおしセンターは、専門分野に応じた柔軟な選択科目から構成する自己研鑽プログラムを開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様に、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 継続科目として6科目

- ①名古屋市立大学学びなおし支援センター
医療保健に関する6科目（春期）（秋期）

医療と保健分野の国家資格保有者を対象としたコース制（医療専門コース、医療技能コース、健康・保健コース）での受講とスポット科目での受講があり、スポット科目での受講は一部受講制限のある実習科目を除き一般の者も受講可能である。

受講修了した国家資格保有者については、受講修了証を発行するほか、履修証明試験の成績に応じて学校教育法に基づく履修証明書を授与するとともに就職支援もおこなう。一般の受講者については受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

講座受講中は学内「さくら保育所」の一時託児サービス(1回2,000円)も利用できる。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2008	7(6科目は12月開講)	248	194
2009	18	1,008	459
2010	10	990	399
2011	6	257	182
2012	6	272	204
2013	6	261	202
2014	6	241	191
2015	6	252	220

2016	6		
合計	71	3,529	2,051

(2016年6月2日現在)

15. 東京・明治大学 知の市場

(1) 開講機関

明治大学リバティアカデミー

詳細は <http://academy.meiji.jp/ccs/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

明治大学駿河台校舎リバティタワー (JR 御茶ノ水駅)

(3) 概要

明治大学の生涯教育の拠点である明治大学リバティアカデミーは安全分野に関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、2015年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①明治大学 リバティアカデミー

- i) 暮らしの中の安全の検証と安全を創るための方策について論じる科目 (前期)
- ii) 製品と機械の安全及びリスクアセスメントに関する科目 (後期)

120分授業16回からなる科目を前期に1科目、後期に1科目、計2科目開講する。

修了者には修了証を発行する。受講料は1科目あたり10,000円である。

開催年度	科目・ユニット数	受講者数	修了者数
2005	2 ユニット	169	17*
2006	3 ユニット	308	186
2007	4 ユニット	100	84
2008	4 ユニット	119	90
2009	4 ユニット	326	199
2010	2 科目	144	144
2011	2 科目	122	90
2012	2 科目	135	112
2013	2 科目	124	80
2014	2 科目	134	90
2015	2 科目	114	78
2016	2 科目		
合計	31	1,795	1,170

* : 1科目は修了証発行せず

(2016年6月2日現在)

III. 研修編

16. 埼玉・狭山元気プラザ 知の市場

(1) 開講機関

アダムジャパン・狭山商工会議所・狭山市

詳細は <http://www.sayama-cci.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

狭山元気プラザ及びアダムジャパン (西武新宿線 狭山市駅からバス)

(3) 概要

ビリヤードの用具の生産において世界を先導するアダムジャパンは、埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市の狭山商工会議所と共催で、全国に狭山市の特徴を発信する一環として世界において大きな存在感を有するものづくりに関する科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①アダムジャパン・狭山商工会議所・狭山市

ものづくりシリーズとしてビリヤードとその道具に関する科目（後期）

受講料は1科目あたり15,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	10	5
2015	1	9	7
2016	1		
合計	3	19	12

(2016年6月2日現在)

17. 福島・いわき 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html>を参照する。

(2) 開催場所

東洋システム研修室（JR常磐線 湯本駅）

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供するとともに試験評価を広く実施することにより高性能二次電池の開発や日本の国際競争力の維持向上に資する東洋システムは、リチウムイオン二次電池をはじめとする二次電池が多くの化学物質の集積によって成り立っていることを踏まえた科目を開講する。

2016年度は、次の連携機関と協力して、通年で2科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①増田優

イノベーションに関する科目（通年）

1) 継続科目として1科目

①増田優

国際動向に応える化学物質総合経営に関する科目（通年）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1	22	22
2014	1	20	20
2015	1	53	53
2016	2		
合計	5	95	95

(2016年6月2日現在)

IV. 大学・大学院編

大学や大学院での正規の単位取得対象科目として開講される科目やユニットを知の市場の関連講座として位置づける。この展開を新たに始めた第Ⅱ期（展開期：2009～2012 年度）は毎年平均して 9 拠点で 27 科目を開講した。第Ⅲ期（完成期：2013～2014 年度）は平均して 7 拠点で 15 科目を開講した。

2016 年度は、5 拠点で 8 科目、3 ユニットを開講する。

拠点名	科目名	種別	学科・連携機関
東京・放送大学 文京学習センター 知の市場	化学物質総合経営学 2	科目	
	社会技術革新学 2	科目	
	規範科学 1	科目	
	化学物質総合経営学 1	科目	
東京・早稲田大学 理工学部 知の市場	生命科学概論 A（電子光）	ユニット	電子光学科、総合機械学科
	生命科学概論 A（化学・応化・総合機械）	ユニット	化学・応用化学科
	生命科学概論 B（生医）	ユニット	生命医科学科
東京・早稲田大学 共同先進健康学専攻 知の市場	化学物質総合管理学	科目	先進理工学研究科
	食農総合管理学	科目	
	感染症総合管理学（隔年、2016 年度開講せず）	科目	
	生活環境総合管理学（隔年、2016 年度開講せず）	科目	
東京・大東文化大学 知の市場	生協社会学	科目	大東文化大学

開講機関	開講年度			第Ⅱ期			第Ⅲ期			2015			2016		
	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数			
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	5ユニット	669	563	4ユニット	350	325	3ユニット	555	555	3ユニット					
早稲田大学 理工学術院 大学院 3研究科	4科目	63	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻	—	—	—	1科目	50	43	—	—	—	—	—	—			
早稲田大学 先進理工学研究科 共同先進健康科学専攻	—	—	—	2科目	42	27	2科目	28	26	2科目					
早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻	3科目	15	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻	3科目	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻	3科目	35	31	2科目	15 (1科目 不明)	14 (1科目 不明)	—	—	—	—	—	—			
お茶の水女子大学	3科目	140	117	3科目	32	23	—	—	—	—	—	—			
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	1科目	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
東京工業大学工学部 高分子工学科	1科目	32	30	1科目	36	36	—	—	—						
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻	1科目	22	20	1科目	25	25	1科目	25	25	—	—	—			
筑波大学	—	—	—	2科目	7	7	2科目	3	3	—	—	—			
大分大学 教育福祉科学部	—	—	—	2科目	14	14	—	—	—	—	—	—			
大東文化大学	—	—	—	—	—	—	1科目	141	121	1科目					
福山大学大学院 工学研究科	2科目	34	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科	1科目	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
東京大学大学院 教育学研究科	—	—	—	1科目	75	不明	—	—	—	—	—	—			
放送大学	—	—	—	—	—	—	2科目	18	18	4科目					
合計	27科目	988	834	19科目	645	513	11科目	770	748	10科目					

注：第Ⅱ期の値は2009～2012年度、第Ⅲ期の値は2013～2014年度のうち開講された年数を基に算出した平均値を示す。

(2016年6月2日現在)